

公的ストック適正化に関する各省庁の取組状況(文部科学省)

・施設の集約化・複合化事業を検討する際の参考に、地方公共団体の集約化・複合化事業の調査結果の共有と併せて、学校施設の複合化に関する基本的な考え方や留意事項を示した報告書等を活用するよう周知。また、個別施設計画の内容の充実や見直しを支援するための事例集において、集約化・複合化の事例についても紹介。

＜個別施設計画の策定による効率的な施設マネジメントの実践セミナー(抜粋)＞

文部科学省の取組について

学校施設

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成29年3月)

手引に基づき、学校施設の長寿命化計画の標準的な様式を示すとともに、より具体的に留意点を解説し解説書です。解説書付属のエクセルソフトの活用により、計画の対象となる建物情報の整理や維持更新コストの試算が可能です。

QRコード



https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11373293/www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/1383568.htm

学校と地域の将来設計！個別施設計画策定取組事例集(平成31年3月)

文部科学省が作成した手引等を活用しつつ限られた予算内の中で計画を策定した事例や、専門業者の知見を活用しながら**事務職員が中心となって計画を策定した事例**等について、計画策定にあたっての**体制づくりやスケジュール等**を紹介しています。

QRコード



https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afiedfile/2019/03/27/1383790_10.pdf

文化・社会教育施設

全国劇場・音楽堂等総合情報サイト(公社)全国公立文化施設協会

よくあるご質問に対する回答・解説を掲載しています。また、HP上の相談申込フォームや、電話(TEL:03-5565-3030)による個別相談も受け付けております。

QRコード



https://www.zenkoubun.jp/support/renovation_qa/index.html

スポーツ施設

スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(平成29年5月公表)

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcacetop02/list/1380329.htm

■ガイドラインの概要(個別施設計画の策定手順)

基本情報の把握	施設の現状評価(1次評価)	施設の現状評価(2次評価)	個別施設計画
	・地方自治体が保有する施設について、基礎情報(安全性・機能性・経済性・耐震性)に基づき、施設の方向性(維持・改善・改廃)を簡易的に判定	・スポーツ施設全体の総合的方針を定め、利用人数やニーズ等による優先度を評価し、施設の基本方針(機能保持、総量コントロール、建替再整備)を判定	・1次評価と2次評価を踏まえ、個別施設に対する適用手法(長寿命化、機能改修、耐震改修、集約化、複合化、新規整備等)を定め行動計画としてとりまとめ

QRコード



スポーツ施設の個別施設計画策定を通じた集約・複合化等推進事業(令和元年度～)

「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」を踏まえた個別施設計画策定を促進するとともに、施設の集約・複合化や広域連携等の先進事例を全国に展開するため、地方公共団体向けの講習会の開催等を行っています。

社会教育施設の複合化・集約化事例集(平成30年3月)

地方公共団体における文化施設・社会教育施設の長寿命化計画策定の際、他の公共施設等との複合化・集約化について検討することが想定されるため、文化施設・社会教育施設の複合化・集約化等に関する事例を収集し、事例集を作成しています。

QRコード



https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/1387273.htm

文教施設全般

文教施設の個別施設計画策定に関する相談窓口

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部
施設企画課 施設マネジメント係
TEL:03-5253-4111(内線)4669

公的ストック適正化に関する各省庁の取組状況(文部科学省)

(学校施設(事例抜粋))

青森県弘前市弘前市学校施設個別施設計画
整備事例：石川小学校 石川中学校

青森県弘前市「弘前市学校施設個別施設計画」

整備事例：石川小学校、石川中学校

●地域コミュニティの核となる公共施設を集約した 小・中学校の施設一体型校舎の整備

【本事例での主な紹介項目】

- ①教育環境の見える化、教育動向等を踏まえた整備の方針
- ②適正規模・適正配置方針・計画の反映
- ③学校施設と他の施設の複合化・共用化、学校間での施設の相互利用
- ④改修等の優先順位付け・実施計画
- ⑤長寿命化のコストの見通しの工夫
- ⑥施設の情報基盤の整備
- ⑦推進体制の整備

【計画情報】

- ・策定期間：令和2年3月
- ・公表 URL：
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/kvouiku/gakkou/kobetusetukeikaku.html>
- ・計画期間：令和2年度から令和41年度(40年間) 5年ごとの見直し

【地方公共団体情報】

- ・学校数(令和2年5月)
小学校：34校 中学校：16校
- ・将来の児童生徒数(推計)
10年後：減少 30年後：減少

個別施設計画の概要

等

- ・「弘前市学校施設個別施設計画」では、
一小学校と中学校が1校ずつ配置された学区にあっては、小・中学校で施設一体型の校舎の整備を検討、
一区内にある公民館等の公共施設との複合化にあたっては、地域コミュニティの核となるよう検討することとしている。
- ・これらの先行事例として、石川小学校、石川中学校の整備があり、隣接する小学校と中学校に、地区の公民館、出張所、児童館を一体的に集約させた施設が整備される予定となっている。

整備事例の概要

1. 小・中学校で施設一体型校舎の整備、公共施設との複合化

- ・「弘前市学校施設個別施設計画」では、将来の人口推計等も勘案しながら、統合や学区再編を見据えた整備を検討することとなっている。このうち、**小学校と中学校が1校ずつ配置された学区にあっては、小・中学校で施設一体型の校舎の整備を検討**することが計画されている。
- ・また、区内にある公民館等の公共施設との複合化を行うにあたっては、地域コミュニティの核となるよう整備を検討することとなっている。

【学校統合及び施設の複合化について】

- ・弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針を踏まえるとともに、将来の人口推計等も勘案しながら、統合や学区再編を見据えた整備を検討します。
- ・小学校と中学校が1校ずつの学区にあっては、小・中学校施設一体型校舎の整備を検討します。
- ・区内にある公民館等の公共施設との複合化を行うにあたっては、学校施設が地域コミュニティの核となり、また、シンボリックな存在となるような整備内容を検討します。

[出典] 弘前市学校施設個別施設計画 第4章

2. 石川小学校、石川中学校での整備事例

①経緯

- ・小学校と中学校が1校ずつ配置された学区のうち、市内で最も建築年が古く、老朽化の進んでいる石川小学校、石川中学校で、施設一体型の校舎整備に関する検討が開始された。
- ・平成29年、石川地区の町会やPTAなどの地域団体から、老朽化する石川小学校、石川中学校の建替えに関する要望書が教育委員会に提出された。要望書は、小学校、中学校を建て替えるだけでなく、地区の公民館や出張所などの公共施設を集約し、

公的ストック適正化に関する各省庁の取組状況(文部科学省)

(文化・社会教育施設(事例抜粋))

北海道勇払郡占冠村

① 占冠村コミュニティプラザ(占冠村公民館)

施設HPアドレス

<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/kyouiku/nmudtq00000053py.html>

<ポイント>

- ・子育て世代や高齢者のふれあいの場として、世代間交流の機会を創出。
- ・高齢者及び子供の利用頻度が高い図書室・児童室を入口近くに配置し、利便性を確保。

施設概要

- 複合施設(床面積) / 1,333.40㎡
 - ・占冠村コミュニティプラザ(公民館) (1,333.40㎡)
 - ・公民館図書室(222.34㎡)
- 整備時期 / 平成6年
- 構造 / 鉄筋コンクリート造・平屋建
- 総工費 / 5.9億円
- 主な財源 / 地域総合整備事業債(3.8億円)
一般財源(2.1億円)



占冠村コミュニティプラザ(占冠村公民館)

施設整備の背景

- ・村民集会所、図書室を役場庁舎内に設置していたが、役場庁舎の改装に伴い、村民の集いの場として多目的施設「占冠村コミュニティプラザ」を整備した。
- ・姉妹都市であるアメリカ合衆国コロラド州アスペン市のデザインチームがデザインした。

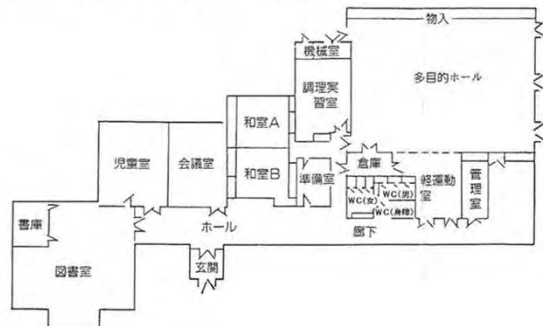
管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
コミュニティプラザ(公民館)	9:00 ~ 18:00	教育委員会	教育委員会	1 (臨時)	-
図書室	9:00 ~ 18:00	公民館	公民館	1 (臨時)	-

平面計画上的特徴

<ポイント>

- ・高齢者及び子供の利用頻度が高い図書室・児童室を入口近くに配置することで、利便性を確保している。



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・占冠村中心部に位置し、道の駅「自然体験占冠」・占冠村ショッピングセンターに隣接していることから、住民の身近な生涯学習施設として利用が促進されている。
- ・子育て世代や高齢者のふれあいの場として、世代間交流の機会が創出されている。
- ・各種公民館教室やサークル活動、各種団体の会議、イベント等、学びの場、集いの場として幅広い住民に利用されている。

【課題】

- ・施設開設から20年以上が経過し、老朽化による施設維持管理経費が増加している。

主な特徴

集約化・複合化による相乗効果の発揮	○	コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映		民間の力の活用(PFIなど)
管理運営の工夫		その他

【相互利用・交流活動】

- 青森太鼓(伝統芸能)、高齢者大学、図書推進事業、各種公民館教室、子育て支援、各種イベントの開催等でコミュニティの拠点として利用されている。

■効果・課題

- ・子育て世代や高齢者のふれあいの場として、世代間交流の機会が創出されている。
- ・各種公民館教室やサークル活動、各種団体の会議、イベント等、学びの場、集いの場として幅広い住民に利用されている。
- ・大型スクリーン(200インチ)を整備し、各種事業や講演等で活用されている。
- ・情報端末機器の進歩に伴い、インターネット(wi-fi)環境の整備が急務となっている



幅広い年代が参加した朗読会

地域住民・利用者等の声

- ・毎週フロアカーリングで利用しているが、村の中心部にあり、利用しやすく便利。
- ・各種会議や冠婚葬祭にも利用できることから、多目的な施設で使い勝手が良い。
- ・放課後に図書室に寄ったり、軽運動室で卓球をしたり、管理人もいるので安心な居場所となっている。
- ・児童室は子育て中の親の情報交換の場として有効に活用している。